

ガイドスタッフの歩み 2002ー2011

2002

2003

2004

2005

2006

2007

2002年9月20日～11月1日
1期生募集

2003年5月17日
1期生登録(20名)

2004年6月26日
他館ボランティア見学、交流会が始まる
埼玉県立近代美術館を見学後、交流会を実施。

2005年1月20日
他館ボランティア見学受入を開始
(受入後交流会を実施すること)

2006年4月
ガイドスタッフによる
「ハイトツアー」スタート

2007年10月1日～11月25日
3期生募集

2002年12月21日～
2003年4月19日
1期生養成研修

2003年5月23日
所蔵品ガイドスタート
毎日14時30分から約1時間。

ガイドスタッフルームの資料を
有志で整える

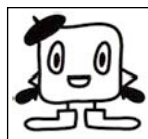
2005年7月1日～8月31日
2期生募集

2006年4月
「ガイドスタッフ文集2 感想文」

2007年7月24日
トークラリー始まる



所蔵品ガイドの初回の参加者は10人。多い時は40人を越すこともあり、順調なスタートをきることができた。



2003年9月
ガイドスタッフのキャラクター
「モマたん」誕生

ガイドスタッフのマスコット。
ガイドスタッフがデザインした。
四角い顔は白いキャンパス、または
モニターから連想されたもの。

2004年12月
「ガイドスタッフ文集1
一年半のガイドを振り返って」

ガイドスタッフの提案のもと、ガイドスタッフ
内の交流のために、文集が作られた。

2003年11月15日
フォローアップ研修が始まる

子どもたちが自由に
発言している姿が楽しそうでした。
(小3の保護者)

解説するのではなく、子どもに
絵を見て感じる心を持つことを
みちびいてくれる、とてもいい
プログラムだと思いました。
(小1、3の保護者)

あまり積極的に発言するタイプで
はないので心配しておりましたが、楽しそうに鑑賞していても
良かったと思っています。
(小1の保護者)

生徒の発する言葉をうまくく
み上げて、感想を引き出して
くださいました。
(中学校教諭)

大勢のボランティアさんたちが
笑顔で親切にわかりやすく説明
してくださったので、引率して
いだけで、生徒たちに深い美術
体験をさせてやれた、と感謝
しています。
(中学校教諭)



子どもプログラムの歩み

ぎゅっ もまっと
KIDS★MOMAT とは？



「KIDS★MOMAT」は、コレク
ションの鑑賞と工作を組みあわ
せた、子ども向けプログラムで
す。有志のガイドスタッフが企
画段階から参加し、材料を準備
したり、リハーサルを重ねたり
と、運営全般に関わります。ガ
イドスタッフの結束力と意気込
みを感じられるプログラムです。

KIDS★MOMAT 2003
「夏休み！こども美術館」

8月8日・9日・10日(6回)
小・中学生：138名



抽象画を鑑賞した後、
色紙を使って作品作り

KIDS★MOMAT 2004
「春休み！こども美術館」

3月26日・27日・28日(6回)
小・中学生：43名

「夏休み！こども美術館」

7月31日・8月1日(4回) 小学生：93名
8月6日・7日・8日(6回) 中学生：55名



版画作品を鑑賞し



作品のお気に入り部分を
切り抜いて、団扇作り

KIDS★MOMAT 2005
「春休み！こども美術館」

3月26日・27日(4回)
小・中学生：128名

「夏休み！こども美術館」

8月6日・7日(4回) 小学生：117名
7月29日・8月2日・3日(6回) 中学生：144名



低学年：絵の中の色をみつけ →
色とりどりのコマが完成

KIDS★MOMAT 2006
「夏休み！こども美術館」

8月21日 小学生：64名
8月21日 中学生：80名



中学年：鑑賞でイメージを広げ →
絵葉書を作り両親や友人へメッセージを書く

KIDS★MOMAT 2007
「夏休み！こども美術館」

7月21日・22日(4回) 小学生：115名
7月24日(2回) 中学生：180名



低学年：描かれた生き物を鑑賞し →
粘土などを用いて空想の生き物を制作

「夏休みトークラリー2007」
(7月24日 中学生180名)

2008



2008年1月12日～4月19日
3期生養成研修

2008年6月1日
3期生登録（13名）

2008年7月12日
ガイドスタッフが主催する「NOMOT会」発足



ガイドスタッフが企画・主催する年に1度の交流会。
退会したガイドスタッフや職員、インターンも招待される。

フォローアップ研修
株式会社クサカベ絵具工場見学（3月9日の様子）



子どもの目がきらきらして
いてよかったです。
（小4の保護者）

2009

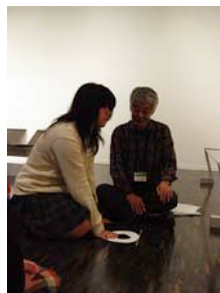


2009年2月～4月
所蔵品ガイド日誌プログトライアル

2009年10月
「ガイドスタッフ文集3
それぞれの よしなしごとなど つれづれに」

2009年10月3日
ガイドスタッフルームが学芸室の隣に移転される

2009年11月19日
視覚障がい者の鑑賞サポート



都立文京盲学校からの視覚障がいのある高校生の見学
依頼を受け、フォローアップ研修で視覚障がい者への
「ことばによる」鑑賞サポートの方法を学ぶ。その成果
を生かし、その後も視覚障がい者への鑑賞サポートを
ガイドスタッフがやっている。

2010



2010年4月20日～
所蔵品ガイドの日誌をブログ化する

2010年10月5日～12月12日
4期生募集

フォローアップ研修
ワールドカフェ「所蔵品ガイドをよりよくするために」（12月25日の様子）



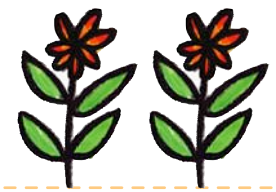
普段のガイドで困っていることや、より良いガイドに近づくためにすべきことを、
忌憚なく語り合う。

2010年3月29日
企画展「小野竹喬展」こども鑑賞プログラム
絵から感じる五七五（小学生20名）



作品鑑賞をしながら感じたイメージを
五七五で表した。

2011



2011年2月5日～4月23日
4期生養成研修

2011年3月12日～4月17日
東日本大震災により、所蔵品ガイド休止

2011年7月15日
4期生登録（10名）



美術に興味を与えてもらえる
プログラムで、とても良かっ
たと思います。
（小4の保護者）

KIDS★MOMAT 2008「夏休み! こども美術館」

8月23日・24日（4回）小学生：125名
7月19日・20日（2回）中学生：235名



中学年：抽象画から感じた擬音語を発表 →
擬音語カルタに挑戦
「読み札」から想像した色や形から「絵札」を作成

「夏休みトークラリー 2008」
（7月19日・20日 中学生235名）

KIDS★MOMAT 2009「夏休み! こども美術館」

7月18日・19日（4回）小学生：136名



高学年：展示されている作品から好きな作品を選び、
「マイ美術館」を作り発表

「夏休みトークラリー 2009」
（8月20日・21日/2回 中学生281名）

KIDS★MOMAT 2010「夏休み! こども美術館」

7月18日・19日（4回）小学1年生～小学4年生：141名



低学年：ハンス・アルプの版画作品を鑑賞 →
アルプの作品に自由に描き足して、自分の「かたち」を作る

「夏休みトークラリー 2010」
（8月5日・6日/2回 小学5年生～中学3年生215名）

KIDS★MOMAT 2011「夏休み! こども美術館」

8月27日・28日 小学1年生～小学4年生：71名



作家によるフォトグラムのワークショップを
ガイドスタッフが体験 →
フォトグラムの作品鑑賞と制作を組み合わせた

「夏休みトークラリー 2011」
（7月21日・22日/2回 小学5年生～中学3年生297名）

ガイドスタッフが紹介された 掲載誌

雑誌・新聞・TV など

「東近美と来館者を結ぶ二十の架け橋」(安斉紀子・池端伸浩・井澤由利子・岩渕健二・大久保豪・妹尾喜久子・平野美沙子・弘中智子)、『DOME Vol.71』p20-26、日本文教出版株式会社、2003年

「東京国立近代美術館の解説ボランティア」 一條彰子・白濱恵里子、『博物館研究 Vol.38 No.11』p24-28、日本博物館協会、2003年

「作品解説ボランティア MOMAT ガイドスタッフ、活動を開始」 富山美智子・井澤由利子・弘中智子、『東京都博物館協議会 会報 No.89』、2003年

「夏休み！こども美術館」 一條彰子、『現代の眼 542』、2003年

「展覧会の鑑賞にギャラリートーク 学芸員、作家、ガイドが作品の見所を解説」、公明新聞、2004年10月3日

「来館者とともに見る・考える—MOMAT ガイドスタッフによる所蔵品ガイド」 一條彰子・大久保豪・弘中智子・井澤由利子・池端伸浩・大内久美子・富山美智子・中嶋壽子・金成圭章、『現代の眼 544』、2004年

「春休み！子ども美術館 小中学生向け所蔵品ガイド」 一條彰子、『現代の眼 546』、2004年

「KIDS★MOMAT2004年 東京国立近代美術館のなつやすみ」 一條彰子、『現代の眼 549』、2004年

「春休み！こども美術館 く見る>を育む鑑賞プログラム」 白濱恵里子、『現代の眼 552』、2005年

「KIDS★MOMAT2005年 東京国立近代美術館のなつやすみ」 白濱恵里子、『現代の眼 555』、2005年

「モダン・パラダイス展 夏休み！こども美術館」 白濱恵里子、『現代の眼 561』、2006年

「東京の美術館をガイドとともに味わう」(林美佐子)、『東京生活 No.17』p128－129、エイ出版社、2006年

「有名美術館40を採点」(大橋千鶴)、『おとなの週末 11月号』、講談社、2007年

「KIDS★MOMAT2007年 東京国立近代美術館のなつやすみ」 藤田百合、『現代の眼 567』、2007年

「趣味・特技を深める資格&検定入門—美術検定」(文屋信男)、『駱駝 6-7月号』p120－p121、小学館、2008年

「MOMAT ガイドスタッフによる所蔵品ガイド」(平野美沙子)、『JR 東日本 小さな旅 2008.10～2009.3』(パンフレット)、JR 東日本、2008年

「KIDS★MOMAT2008年 東京国立近代美術館のなつやすみ」 藤田百合、『現代の眼 573』、2008年

「KIDS★MOMAT2008年 東京国立近代美術館のなつやすみ」 藤田百合、『教育美術 797』、2008年

「作品への理解が深まる作品解説サービス」(伊藤睦子)、『サライ 12月号』、小学館、2009年

「パネルディスカッション1—何のために絵をみるのでしょうか」 一條彰子、『100人で語る美術館の未来』p80－p83、慶應義塾大学出版会、2011年

TV 「あなたが主役 50ボイス—東京ミュージアムボイス」(金成圭章・妹尾喜久子)、2011年7月1日、NHK

「本物で見る力養う対話型鑑賞教育—知識欲満たす大人向けも」(山本与志絵)、東京新聞、2011年9月19日

「『夏休み！子ども美術館』—『鑑賞+表現』プログラムの位置づけ」 一條彰子、『現代の眼 591』、2011年

＊（ ）は取材協力者、（ ）のない人名は執筆者

MOMATガイドスタッフ登録者

2003年5月17日～

安斉紀子
池端伸浩
井澤由利子
伊藤睦子
大内久美子
小倉優子
金成圭章
妹尾喜久子
富山美智子
中嶋壽子
林美佐子
平野美沙子

2005年12月24日～

稲森珠実
大橋千鶴
岡部麻美
川上好美
清水一夫
谷口武教
長井江美子
新野忍
西岡千絵
長谷川珠子
山本与志絵

2008年6月1日～

猪飼藍
池崎なほ
遠藤舞
金井真悠子
小磯麻樹子
酒井茜
中尾小絵
夏目敬子
文屋信男
八木良美

2011年7月15日～

采木俊憲
小林裕美
笹谷潤子
田口朋子
竹内美枝
棚瀬沙和子
谷山奈緒美
永井てるみ
深津優希
前山言葉

退会者

岩渕健二	(2003年～2005年)	弘中智子	(2003年～2006年)	吉岡知子	(2005年～2008年)
木村さとみ	(2003年～2005年)	石川俊雄	(2003年～2007年)	高田紫帆	(2008年～2009年)
阿部文子	(2003年～2005年)	大久保豪	(2003年～2007年)	戸田歩	(2008年～2010年)
赤松千佳	(2003年～2005年)	来栖正和	(2003年～2007年)	和知亜希子	(2008年～2010年)

編集後記

ガイドスタッフの活動も10年目を迎えようとしています。この間のガイドスタッフと関係者の皆様のご尽力に深く感謝いたします。当館の教育普及活動の多くは、ガイドスタッフの協力なくしては成り立ちません。教育普及室とガイドスタッフは、お願いする、されるという関係をこえ、共にプログラムをつくり上げていく同士として活動していたことも多いように思います。私の役割は「美術館とガイドスタッフのつなぎ手」でしたが、ガイドスタッフから教えられ、そして支えられていたことばかりでした。本記録集には、ガイドスタッフの9年間の活動がぎっしりと詰まっています。美術館・博物館ボランティア事業に携わる多くの方々に、本記録集がボランティア活動を考えるうえでの、ささやかな一助となれば大きな喜びです。また、ガイドスタッフのこれまでの活動内容を見つめ直し、これからの新しい展開にむけて本記録集が役立つことを願っています。

(藤田百合)

東京国立近代美術館教育普及室スタッフ

一條彰子 (1999年～)
蔵屋美香 (2001年～2002年)
白濱恵里子 (1998年～2007年)
荒木和 (2002年～2010年)
藤田百合 (2007年～2012年)
細谷美宇 (2012年～)

東京国立近代美術館解説ボランティア
MOMAT ガイドスタッフ活動の記録 2002～2011
トーキング・トーキンビ

2012年3月発行

編集：一條彰子・藤田百合・細谷美宇（東京国立近代美術館）

デザイン：高橋美礼

イラスト：平澤一平

印刷：アドヴァンス

発行：東京国立近代美術館
東京都千代田区北の丸公園3-1 〒102-8322
Tel. 03-3214-2561 Fax. 03-3214-2576